

令和3年12月9日

各郡市柔道連盟会長様
各所属長様
中・高等学校長様
大学長様

秋田県柔道連盟
会長 遠藤 純



令和4年全日本柔道選手権大会（男子・女子）秋田県予選会の開催について

このことについて、別添大会実施要項により開催致しますので、選手の派遣について特段の御配慮をお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症対策についての書類も同封しておりますので、こちらについてもよく御確認の上御対応ください。

- | | | | |
|---|------|-------------------------|---------------|
| 1 | 大会期日 | 令和3年1月30日（日） | |
| 2 | 会場 | 秋田県立武道館 | 秋田市新屋町字砂奴寄2-2 |
| 3 | 添付書類 | 大会要項 | 1部 |
| | | 出場申込書 | 男女各1部 |
| | | 出場同意書（中学生女子のみ） | 1部 |
| | | 健康記録表（2週間分） | 1部 |
| | | 入場者への注意喚起及び同意書（大会関係者全員） | 1部 |
| | | 参加選手所属先の証明書 | 1部 |

令和４年全日本柔道選手権大会秋田県予選会
令和４年全日本女子柔道選手権大会秋田県予選会
実 施 要 項

- 1 日時 令和４年１月３０日（日） １０：００開会式（９：３０ 審判監督会議）
2 場所 秋田県立武道館 ２階 柔道場

秋田市新屋町字砂奴寄２－２ Tel ０１８－８６２－６６５１

- 3 主催 秋田県柔道連盟
4 後援 秋田県教育委員会
5 参加資格

- （１）選手は日本国籍を有し、当該年度全日本柔道連盟に登録している者。
（２）県内に居住、勤務、在学のいずれかであること。ただし、卒業学年にある者は、この限りでない。
（３）全日本女子柔道選手権大会秋田県予選会出場選手は、令和３年１月３１日現在、中学１年生以上であること。

※女子中学生は、「出場同意書」が提出された選手に限り出場させる。

- （４）新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について

「12 感染防止対策」や別紙の注意喚起文書を参照し、それらを遵守した者のみ参加できる。なお、申込や当日来場の後に対策が遵守されていないことが認められた参加者には、参加の取り消しや途中退場を求めることがあり得る。

6 選考人数及び試合方法

- （１）全日本柔道選手権大会秋田県予選会

ア、全日本柔道選手権大会東北予選会への出場選手４名、補欠１名を選考する。

イ、トーナメント戦による。

敗者復活戦（ダブルレペチャージ方式）により、順位を決定する。また、３・４位決定戦、５・６位決定戦も行う。

- （２）全日本女子柔道選手権大会秋田県予選会

ア、全日本女子柔道選手権大会東北予選会への出場選手は３名、補欠１名を選考する。

イ、トーナメント戦による。（敗者復活戦を行わない）

ウ、３位決定戦を行い、順位を決定する。

エ、補欠１名の選考は、３位決定戦で敗退した者とする。

7 審判規定

- （１）国際柔道連盟試合審判規定（２０１８～２０２０）および全日本選手権大会申し合わせ事項にて行う。
（２）試合時間は男女とも４分間とする。試合時間内でスコアに差がない場合はゴールデンスコアによる時間無制限の延長戦を行う。

- (3) スコアは「一本」「技あり」「有効」の3種類とし、「技あり」が2つで、合わせ技「一本」とする。抑え込みの時間は20秒で「一本」、15秒以上で「技あり」、10秒以上で「有効」とする。
- (4) 罰則等その他については、国際柔道連盟試合審判規定(2018~2020)にて行う。
- (5) 全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。(赤ラベルのみ使用可) 女子の帯については、黒帯を着用すること、(白線無し)

8 表彰

1位、2位、3位(2名)を表彰する。

9 参加申込

- (1) 別紙1「申込書」により、令和4年1月14日(金)まで申込むこと。(期限厳守)
- (2) 女子中学生は別紙2「出場同意書」を添付すること。
- (3) 参加料 1,700円(障害保険料を含む)を申込みと同時に納付すること。
- (4) 申込先 〒010-0974

秋田市八橋運動公園1-5スポーツ科学センター内
秋田県柔道連盟事務局 宛

- 10 組合せ 令和4年1月17日(月)当連盟強化委員会が行う。

11 その他

① 東北東西対抗柔道選手権大会出場選手の選考(実施の場合)

全日本柔道選手権大会秋田県予選会の結果を考慮し、当連盟強化委員会で選考する。

(男子-補欠を含む5名《五段以上1名、四段1名、三段以下2名》、女子-補欠を含む3名)

② 選手の傷害保険は、当連盟が負担する。

③ 健康保険証を持参すること。

④ 参加料は原則として返金しない。

⑤ 大会中の不慮の負傷及び事故については、応急処置を施すが、その他の責任については、秋田県柔道連盟は負わないものとする。

⑥ 脳震盪の対応について《ジュニア(20歳未満)以下に下記条項を追加する。》

・選手及び指導者は下記事項を遵守すること。

- (1) 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷したものは、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。尚、至急専門医(脳神経外科)の検査を受けること。
- (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- (4) 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

12 感染防止対策

- (1) 会場への入場者を制限し、原則無観客とする。ただし、選手1名につき2名の家族の入場を認める。
- (2) 選手・指導者、大会役員、家族は、2週間（1月17日～30日）の健康観察を行い、健康調査票を主催者に提出する。また、当日会場において検温を実施する。健康調査票と検温のいずれかに体調不良等の症状があった場合は会場に入場できない。
- (3) その他、大会運営にあたっては、全日本柔道連盟発出「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」の最新版に沿って進める。

健康調査票（選手・コーチ共通）

選手（補欠含む）	監督	コーチ

(該当の欄に○)

所 属	氏 名
	連絡先 電話番号
	(中・高校生は保護者の連絡先)

◎ 下記症状の有無について記載してください。（練習直前または当日朝に記入）

月日（曜日）	1/16(金)	1/17(金)	1/18(金)	1/19(金)	1/20(金)	1/21(金)	1/22(金)
練習							
練習場所							
「その他」の練習場所							
測定した時間							
体 温							
※ 強いだるさ							
※ 息苦しさ							
のどの痛み							
くしゃみ							
咳							
たん							
味覚の変化							
嗅覚の変化							
その他 (嘔吐・腹痛・下痢等)							

大会当日

月日（曜日）	1/23(日)	1/24(日)	1/25(日)	1/26(日)	1/27(日)	1/28(日)	1/29(日)	1/30(日)
練習								
練習場所								
「その他」の練習場所								
測定した時間								
体 温								
※ 強いだるさ								
※ 息苦しさ								
のどの痛み								
くしゃみ								
咳								
たん								
味覚の変化								
嗅覚の変化								
その他 (嘔吐・腹痛・下痢等)								
過去14日以内に同居家族、身近な知人、所属チームに感染が疑われる方がいる						1 いる	2 いない	
過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている 国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある						1 ある	2 ない	

上記選手の体調等に問題はありません。

所属チーム責任者サイン：

※出場選手は上記に署名をもらい、提出してください。

令和12年全日本柔道選手権大会 健康記録表
健康調査票（選手・コーチ共通）

選手（補欠含む）	監督	コーチ

（該当の欄に○）

所 属	氏 名
	連絡先 電話番号
	（選手は保護者の連絡先）

◎ 下記症状の有無について記載してください。（練習直前または当日朝に記入）

月日（曜日）	2/13(日)	2/14(月)	2/15(火)	2/16(水)	2/17(木)	2/18(金)	2/19(土)
練習	あり						
練習場所	自チームの道場						
「その他」の練習場所							
測定した時間	8時						
体 温	36.7度						
※ 強いだるさ	なし						
※ 息苦しさ	なし						
のどの痛み	なし						
くしゃみ	なし						
咳	なし						
たん	なし						
味覚の変化	なし						
嗅覚の変化	なし						
その他 (嘔吐・腹痛・下痢等)							

大会2週間前2/13(日)から
記録を開始してください

柔道の稽古を行う日を記録してください。
所属チームの道場で稽古した場合は下欄は入力
不要です。

その他の症状がなければ空欄のままで結構です。

大会当日

月日（曜日）	2/20(日)	2/21(月)	2/22(火)	2/23(水)	2/24(木)	2/25(金)	2/26(土)	2/27(日)
練習	あり							
練習場所	その他(下欄に入力)							
「その他」の練習場所	春日高校							
測定した時間	15時							
体 温	36.5度							
※ 強いだるさ	なし							
※ 息苦しさ	なし							
のどの痛み	なし							
くしゃみ	なし							
咳	なし							
たん	なし							
味覚の変化	なし							
嗅覚の変化	なし							
その他 (嘔吐・腹痛・下痢等)	腹痛							

所属チームの道場以外で稽古した日には
『「その他」の練習場所』に学校名など入力し
てください。

体調に関する設問以外に腹痛などの自覚症状が
あれば入力してください。

過去14日以内に同居家族、身近な知人、所属チームに感染が疑われる方がいる	1 いる	2 いない
過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている 国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある	1 ある	2 ない

上記選手の体調等に問題はありません。	所属チーム責任者サイン：
※出場選手は上記に署名をもらい、提出してください。	

〈別紙1〉

出 場 申 込 書

令和4年全日本柔道選手権大会秋田県予選会（男子・女子）							申込責任者 (生徒の場合 は校長印)				
※いずれかを○で囲むこと。											
段位	氏 名	生年月日	年 令	身 長	体 重	全日本柔道連盟登録ID				学校名(学年)・勤務先名	出身校(大学生・一般)

※欄が不足の場合は、コピーで対応をお願いします。

出 場 同 意 書

出場者氏名

所属学校名

学 年

令和4年全日本女子柔道選手権大会秋田県予選会に出場することに同意します。

令和 年 月 日

学校所在地

学 校 長 名

印

保護者住所

保 護 者 名

印

秋田県柔道連盟

会 長 遠 藤 純 男 様

様式 2

競技役員・家族・その他入場を認められた方
健康調査票

入場者各位

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、大会会場に入場される方に対して入場者確認票の提出をお願いしております。

つきましては、ご自身の体調に関する問診と、大会会場内での遵守事項について確認していただき、必要事項をご記入の上、本状（報道・その他の方は名刺も提出）のご提出をお願いします。

秋田県柔道連盟

健康に関する問診

記入欄

氏 名	
所 属 名（会社名・学校名）	
発熱の有無	有 ・ 無
入場日 2 週間前における以下の事項の有無	有 ・ 無
※以下の項目について該当のある場合は入場出来ませんので、あらかじめご了承ください。 ①平熱を超える発熱（37度以上、平熱が37度前後の方は平熱+0.5度まで、平熱は直前2週間の平均） ②せき、のどの痛みなどの風邪の症状 ③だるさ、息苦しさ ④嗅覚や味覚の異常 ⑤体が重く感じる、疲れやすい ⑥新型コロナウイルス感染症陽性者とされた者との濃厚接触の有無 ⑦同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる ⑧過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある	

遵守事項

- 1 上記の健康に関する問診で該当する項目のある方は、自主的に参加を見合わせてください。
- 2 マスクを持参してください。（参加受付時や着替え時等スポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用）
- 3 こまめな手洗い、アルコール消毒による手指消毒を実施してください。
- 4 他の参加者、大会関係者等との距離（できるだけ2 m以上）を確保してください。（障害者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 5 大会中に大きな声で会話、応援等をしないでください。
- 6 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告してください。

その他

※ 感染症が発生した場合の保健所の追跡調査のみに使用します。必要性がなくなった時点で破棄いたします。（少なくとも1か月以上保管後）

令和4年全日本柔道選手権大会秋田県予選会 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

1. 大会日程

令和4年1月30日（日） 9：30 審判監督会議
10：00～ 開会

2. 試合会場について

秋田県立武道館柔道場にて試合を行う。

3. 入場制限について

会場への入場者を制限し、原則無観客とする。ただし、選手の家族については、2名程度の入場を認める。

4. 健康調査票等の提出について

(1) 健康調査票の提出

すべての大会関係者と観客に入場時、健康調査票（様式1：選手・指導者用／様式2：役員・家族用）の提出を求める。

(2) 参加のとりやめ

健康調査票の提出に不備がある場合、また、記載内容に問題がある場合は、大会への参加を認めない。

5. マスクの着用について

すべての参加者及び大会関係者に常時マスク着用を義務づける。ただし、試合を行う選手についてはこれを除外する。

6. 手指消毒及び周辺施設の消毒について

(1) 入場時の手指消毒

すべての参加者及び大会関係者に対し、入場時の手指消毒を義務づける。

(2) 入場後の手指消毒及び周辺施設の消毒

入場後、会場内においても適宜手指の消毒を求める。

(3) 試合会場の消毒

定期的に試合場（畳）の消毒を行う。

7. 身体的距離の確保について

参加者は、常時適切な身体的距離を確保し、行動するようにする。

8. 試合前、試合中の選手、監督、コーチの行動について

(1) 試合前

①選手は各自手指消毒を行う。

②選手は試合場でマスクを外して他の選手等に預ける。

(2) 試合中

①試合中、選手には大きな発声をしないよう、自粛を求める。

②会場内において、大きな声での会話や応援をしないこととする。特に試合中のコーチによる大声での指示や指導は禁止とする。

9. 柔道衣コントロールについて

審判員が目視によりコントロールを行う。

10. 選手への対応について

選手は受付に健康調査票を提出する。選手の試合参加の判断は、以下の入場プロトコールにより判断する。

＜選手の試合参加の入場プロトコール＞

	内 容	試合参加
1	健康調査票を提出しない	×（不可）
2	試合当日に発熱（37.0度以上）や諸症状がある。	×（不可）
3	試合前2週間のうち、最初の1週間で連続する3日以上発熱（37.0度以上）や諸症状があった。	×（不可）
4	試合・計量3日前から発熱（37.0度以上）や諸症状がある（あった）	×（不可）
5	試合前2週間のうち、最初の1週間で連続した2日以内の発熱（37.0度以上）や諸症状があった。	○（可）
6	試合前2週間のうち、後半の1週間で4日前までの1日だけに発熱（37.0度以上）や諸症状があった。	○（可）

- ・ 試合前3日以降に有症状者と練習をしていた選手の出場は不可と判断する。
- ・ 発熱の基準は、37.0度以上とする。ただし、平熱が37.0度前後の場合は、平熱+0.5度までは参加を認める。平熱は直前2週間の平均値とする。
- ・ 試合前に濃厚接触者が所属チーム内で出た場合、チームは練習を中止して、全日本柔道連盟に連絡をすること。チームは2週間の練習中止が原則となる。濃厚接触者の感染が確定した場合は感染確定日から2週間の練習休止が確定する。この期間に試合日が含まれる場合、試合に参加することはできない。濃厚接触者の感染が否定された時点で、濃厚接触者以外のチーム構成員は中止前の段階から集団練習を再開できる。しかし、濃厚接触者は濃厚接触者と確定された日から2週間はチームのいかなる練習や大会にも参加できない。試合前2週間のうちに濃厚接触者と練習をした者は、主催者が入場プロトコールにより参加の是非を判断する。

11. 審判員への対応について

（1）マスクの着用について

審判中もマスクを着用する。試合場に上がらない審判委員もマスクを着用する。

（2）試合中の位置取り

審判同士や選手とは、十分な距離（少なくとも2m以上の距離）をあけるが、技の判定の判断には近接での判断が必要な場合もあるので、臨機応変に対応する。

（3）試合中の監督・選手のコントロール

監督や選手が試合場で大声を出して、応援や指示をする場合には、厳しくコントロールする。

（4）試合場の清掃、消毒

試合場が出血や汚物などで汚れた場合は、審判員の指示で係員が必要に応じて清掃・消毒を行う。

12. その他

上記に記載のない事項については、次の指針等の最新版に沿って進める。

- ・ 「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」（全日本柔道連盟発出）
- ・ 「新型コロナウイルス感染症対策について」（県新型コロナウイルス感染症対策本部発出）